

全国共同利用化に向けた第1回生存圏シンポジウム

生存圏における木質の循環解析

● 挨拶・講演 ●

20世紀の科学と21世紀の科学
松本 敏
(京大大学生存圏研究所所長)

● 特別講演 ●

ジャバンパースペクティブと生存圏科学
高田文一郎
(筑波大学教授・日本学術会議会員)

太陽・地球系科学から生存圏研究所への期待
藤井良一
(名古屋大学S T E 研究所教授・
地球電磁気・地球惑星圏学会会長)

● プロジェクト講演 ●

「インドネシア・スマトラ島における
アカシア大規模一斉造林地をフィールドとした
木質の持続的・循環的生産と利用」

1. プロジェクトの概要：川井秀一（京大大学生存圏研究所）
2. 大規模造林地を俯瞰する ―衛星画像分析の応用―：木村年成（京大大学生存圏研究所）
3. アカシア大規模造林地における大気観測の可能性：中村卓司（京大大学生存圏研究所）
4. 樹木のストレス診断と森林圏計測の接点を求めて：黒田宏之（京大大学生存圏研究所）
5. アカシア樹皮タンニンの商品化：稲井淳司（越井ウッドソリューションズ（株））
6. Utilization of acacia timber as a structural building material for low-cost housing:
Anita Firmanti (Research Institute for Human Settlement, Indonesia)

日 時：平成16年10月13日（水）午後1時30分～4時30分

場 所：京大大学生存圏研究所 木質ホール3F
(宇治市五ヶ庄 京都大学宇治キャンパス内)

入場無料